

赤坂中学校教育目標

- ・「まなび」を大切にする
- ・「まなび」を大切にする
- ・「いのち」を大切にする
- ・「とき」を大切にする

### 充実した夏休みを過ごさせてください

校長 高松 政則

今日からの予定だった移動教室もコロナの影響で10月に延期となりましたが、昨年実施できなかった運動会ができたことが何よりです。定期考査も終り、夏休みまであと少し、生徒たちも少しほっとしているのではないのでしょうか。蒸し暑い日が続きますがご自愛ください。

さて、あまり好きではない方もいらっしゃると思いますが、夏といえば土用(どよう)のうなぎ。この時期になるとこの言葉をよく耳にします。そのため、土用というと夏を思い浮かべてしまいがちですが、土用は各季節にもあります。一般的には立秋前の18日間を指すようですが、陰陽五行説で春・夏・秋・冬をそれぞれ木・火・金・水とし、土を各季節の終わりの18日間に当てはめたことから、立春、立夏、立秋、立冬の前の18日間を土用というようです。では、なぜ土用の丑の日にうなぎを食べると夏バテをしないといわれているのでしょうか。実はこの風習、江戸時代の万能学者、そして発明家でもある平賀源内が仕掛けたものだそうです。知り合いのうなぎ屋が「夏はうなぎが売れない」といって困っていたのを見て、店の前に「土用丑の日、うなぎの日」という貼り紙をしたのです。これが広まり、土用の丑の日にうなぎを食べる風習となったようです。また、夏の土用は、1年の中で最も暑さが厳しいとされる時期にあたるため、江戸時代にはこの期間の丑の日を「土用の丑の日」と重視し、柿の葉などの薬草を入れたお風呂に入ったり(丑湯)、お灸をすえたり(土用灸)すると夏バテや病気回復などに効き目があるとされていたようです。

さらに、元々この日に「う」のつくものを食べると病気になるという言い伝えがありましたので「う」のつく食べ物＝「うなぎ」として定着したようです。その他、「梅干し」「瓜」「うどん」などもあります。いずれも、食が細くなる夏に食べやすいものです。このような言い伝えは先人たちのありがたいアドバイスともいえるわけです。この他にも土用の虫干し・土用干しという風習もあります。夏土用の時期に、カビや虫の害から守るため、衣類や書物に風を通して陰干することを土用の虫干しといいます。また、この期間は田んぼに水を入れず、土をひび割れ状態にします。これは雑菌の繁殖を抑える効果があり、根がしっかりと張るそうです。梅干しの天日干しもこの時期ですね。



土用は季節の変わり目ですから、体調を崩さないようにとの戒めも含めた様々な風習があるようです。時代とともに物の見方や考え方がどんどん新しいものに入れ替わっていく現代ですが、昔の知恵や教えも大切にしたいものです。

夏休みは基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける絶好の機会です。一学期の学習の総復習を行い自身の学習の確認をさせていただきたいと思います。夏休みを充実したものにするために、ご家庭でもご指導よろしく願います。

### 7月の予定

5日(月) 避難訓練	12日(月) 朝礼
6日(火) 専門委員会	13日(火) 職員会議
7日(水) 区教研	14日(水) 教育人事企画課訪問
8日(木) 中央委員会	16日(金) 6校時セーフティ教室
10日(土) 第1回進路説明会 保護者会	20日(火) 終業式 大掃除
	21日(水) 夏季休業日 始

7月の生活目標

「1学期を振り返ろう」

○1学期の生活を振り返り、充実した夏休みとなる計画を立てよう。

○暑さに負けずに、学習や運動に取り組もう。



### 港区教育委員会研究パイロット校として、研究が進んでいます [6/30(水)]

本年度と次年度の2年間にわたり、港区の指定を受けて研究を開始しています。その内容は「ICTを活用した個別最適化された学びの実現等、港区が推進するGIGAスクール構想の取り組みの研究」です。来年度後半には、引っ越したばかりの新校舎での研究発表会も予定されています。

今回は、東京学芸大学教育学部准教授である高橋 純先生をお招きし、5校時には各クラスの授業観察をしていただきました。放課後は先生たちへの講演をお願いしました。講演では「ICT活用により、学習への効果が上がったかどうか」も大事だが、もっと重要なのは「毎日の道具として使えているか」、「人と人がつながる活用がされているか」など、大変参考になる興味深いお話をいただきました。



1年理科の授業

iPadで生徒同士の情報を共有します



3年英語 スキットの発表

動画で撮影して振り返りができます

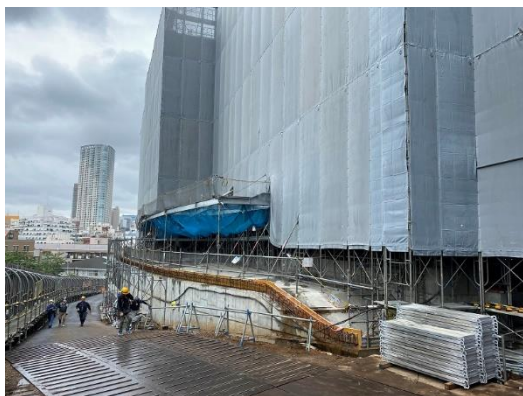


放課後は、高橋先生の

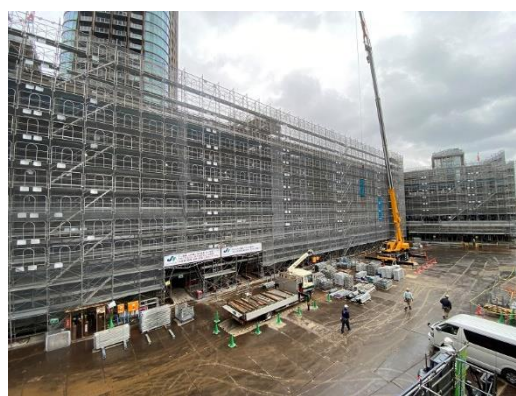
講演を全教員で聴きました

### 新校舎の足場の撤去が始まっています！

6月30日(水)午前中、打ち合わせのために新校舎建設現場まで管理職2人が向かいました。前号でも5月19日の写真を掲載しましたが、約40日ぶりの現場でした。左の写真にある青色の防護シートがひさしのようにになっている場所が正面玄関です。写真で作業員の方々が上ってくる坂を右方面に校舎棟の曲線に沿って下った先がバス通りの正門となります。左端に見える柵の左側が既存の歩道です。また、旧校舎にあった南門（現在の撮影位置付近）にも門ができますので、登下校で使えます。



バス通りの正門から坂を上って正面玄関へ



足場が取れば、いよいよ外観のお披露目です

